

令和 8 年度第 1 回奈良市障害者計画等策定委員会会議録

令和 8 年度第 1 回奈良市障害者計画等策定委員会会議録				
開催日時	令和 8 年 6 月 1 日（月）午後 2 時から午後 4 時まで			
開催場所	奈良市役所北棟 6 階　6 0 2 会議室			
出席者	委　員	山下委員長、安井副委員長、稲葉委員、小野委員、北畑委員、艸香委員、作間委員、式部委員、高橋委員、平井委員、宮田委員、村上委員、安井委員、山下委員【計 1 2 人出席】		
	事務局	【福祉部】北村部長、田中次長、四本参事 【障がい福祉課】森田課長、岡田課長補佐、中田課長補佐、田中企画管理係長、川本自立支援給付係長、上田在宅支援係長、笹川生活支援係長、尾崎療育係長、西尾指定係長 【計画策定業務受託者】あたつく福祉型事業協同組合 4 人		
開催形態	公開（傍聴人　0 人）	担当課	福祉部障がい福祉課	
議　題 又は 案　件	1　委員長及び副委員長の選出について 2　会議録署名人の選任について 3　奈良市障害者計画等策定について （ア）策定業務・スケジュール等 （イ）奈良市における障害者の現状 （ウ）アンケート調査について			
決定又は取り 纏め事項	1　委員長に山下委員を選任し、副委員長に安井委員を選任した。 2　会議録署名人の選任について、全会一致で山下委員長と稲葉委員を会議録署名人に決定した。 3　アンケート調査の項目、内容については本委員会の意見をふまえて修正する。修正版を後日委員に送付したうえで、委員長、副委員長と事務局で協議のうえ最終確定することとした。			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
1．委員長及び副委員長の選出について ・　奈良市障害者計画等策定員会規則第 5 条の規定に基づき、委員の互選により、委員長に山下委員が選任された。また、副委員長に安井委員が選任された。				
2．会議録署名人の選任について ・　会議録署名人は、全会一致で山下委員長と稲葉委員に決定した。				
3．奈良市障害福祉計画等策定について （ア）策定業務・スケジュール等 ・　事務局から奈良市障害者福祉基本計画等の策定スケジュールについて説明。 （特段意見なし） （イ）奈良市における障害者の現状 ・　事務局から奈良市における障害者の現状について障害者手帳所持者数の推移、障害支援区分認				

定者、身体障害者・知的障害者・精神障害者・の状況及び障害福祉サービスの利用実績を説明。

(特段意見なし)

(ウ) アンケート調査について

- ・ 事務局から計画の柱立てについて基本計画の9つの柱と障害福祉計画・障害児福祉計画の7つの柱について説明。

(特段意見なし)

- ・ 受託者から「障害福祉計画及び障害児福祉計画～調査設計～」、「市民向けアンケート調査案」、「事業所向けアンケート案」について説明

(各委員からの意見)

山下委員長 : 計画の枠組みは国から示されているものがあるが、奈良市民の声をどのように受け止めたものにできるかが重要だ。

権利擁護と親なき後の問題については特に委員の意見を踏まえて考えていきたい。

奈良市の現状についてだが、少子高齢化社会で人口は減少している一方で手帳所持者数が増えているというのが特徴的だ。

障害者施策としては身体障害者を対象に始まったが事業に幅がでてきたというのが現状だ。しかし、地域とのかかわりや社会参加という面でみると課題があるように思う。

式部委員 : 障害者が就労するための支援は充実してきた。仕事だけでなく日中の居場所づくりも重要である。

また、基幹相談支援センターとはどのような役割なのか。事業所から基幹相談支援センターにつなぐケースもあるときいているので、事業所アンケートで利用実態を把握できるよう設問を追加してほしい。

事務局 : 基幹相談支援センターは、地域の相談拠点として様々な相談や情報提供などの支援を総合的に行っている。障害のある方だけでなくそのご家族、地域の相談支援機関、福祉サービス事業所などの関係機関からの様々な相談に応じている。

小野委員 : 就労が中断した方に対する居場所づくりが重要だ。日中の居場所づくりという観点で障害の有無に限らず立ち寄ることができるコミュニティレストという取組みを始めた。

北畑委員 : 教育のインクルージョンという観点でいうと、日中活動のすべての時間を児童発達支援センターで過ごす子どもは減っている。教育機関や地域との連携がより重要になっている。

宮田委員 : 特別支援学校、普通学校、事業所がそれぞれの立場で多様な学びの場を提供することが重要だ。

平井委員	： 成人移行期医療について成人診療科を受診する際に障害に対する理解が乏しいことがある。アンケートの設問に追加してほしい。 また、親なきあとの不安を聞く設問を追加してほしい。
高橋委員	： 奈良市の現状として精神障害者手帳所持者、療育手帳所持者の増加について言及があった。発達障害のある方の実情が知りたいのでアンケートで工夫できないか。 市民アンケートの内容をどのように基本計画に反映するか工夫してほしい。
舩香委員	： 災害時の要支援者名簿をみていると、目に見える障害の場合はどのような援助が必要なのか見当がつく。目に見えない障害をお持ちの場合に地域で対応可能な範囲がある。事業所において受入れができるのかアンケートで聞いてほしい。
村上委員	： 発達障害のある方で大学卒業後の就職活動時、または就職してすぐの時期に状態が悪くなる方がいる。就労支援と生活支援が連動する必要がある。
山下委員長	： アンケートについては修正版を後日委員に送付し、委員長、副委員長と事務局で協議のうえ最終確定する。
資 料	【資料１】奈良市障害者福祉基本計画等の策定スケジュール 【資料２】奈良市における障害者の現状 【資料３】計画の柱立てについて 【資料４】奈良市障害福祉基本計画および障害福祉計画調査設計